

法政大学大原社会問題研究所

# 所 報

(2007.3.1～3.31)

## □人 事

(3月1日付)

客員研究員

林 栄 一 (韓国 慶南大学教授, 嶺南労働運動  
研究所所長 2007年11月30日まで)

(3月31日付)

職員異動

小川 真弓 主事補 (小金井事務部学生生活課  
へ転出)

退任 運営委員

浜村 彰 (法学部教授)

上林千恵子 (社会学部教授)

下夷 美幸 (同助教授)

退任 兼任研究員

佐伯 哲朗

武内 砂由美

△リプロ電子工房

退職 金子 規子

## □刊行物

法政大学大原社会問題研究所叢書

法政大学大原社会問題研究所／五十嵐仁編著『「戦  
後革新勢力」の源流—占領前期政治・社会運動史  
論1945-1948』大月書店

『大原社会問題研究所雑誌』581号 (2007年4月)

『高齢者の在宅ケア—歩を進めるために—介護  
保険制度改正過程における経験と課題— (加齢  
過程における福祉研究会記録その11)』(ワーキ  
ング・ペーパーNo.26)

『国際労働基準と日本の労働政策』(ワーキング・  
ペーパーNo.27)

## □図書受入

	和 書	洋 書	計
購 入	65	22	87
受 贈	64	2	66
合 計	129	24	153

## □閲覧サービス

閲覧

開館日数 26日

閲覧人員 40名

貸出図書 61冊

コピーサービス

学外 29件 2425枚

学内 7件 991枚

日 誌

1日 共同研究プロジェクト「福祉国家と家族政策」  
研究会

テーマ：「ワーク・ライフ・バランスの基  
本原理—スウェーデン法を素材と  
して」

講師：両角道代氏 (明治学院大学)

3日 「福祉国家と家族政策」研究会

テーマ：「EU憲法の家族規程と家族政策」

講師：尾澤恵氏 (国立社会保障人口問題研  
究所)

7日 『日本労働年鑑』編集会議

8日 学生アルバイトによる図書移動作業 (～14日)

13日 戦後労働運動研究会

「労働組合名簿について」(永田瞬), 「組織  
変遷図について」(芹沢寿良), 「テーマ別索  
引について」(早川征一郎)

14日 運営委員会

議題①嘱託研究員について

②その他

『日本労働年鑑』編集会議

17日 「福祉国家と家族政策」研究会

テーマ：「家族政策の日韓比較」

講師：相馬直子氏 (東京大学大学院)

テーマ：「フランスの家族政策の現状・動向」

講師：神尾真知子氏（日本大学法学部教授）

加齢過程における福祉研究会

テーマ：「介護保険と介護予防」

講師：小竹雅子氏（市民福祉情報オフィス・ハスカップ）

22日 アジア学会大会（Association for Asian Studies Annual Meeting）（於：アメリカ・ボストン ～25日）

パネル“From Think Tank to Archive：The Ohara Institute for Social Research as Resource and Subject for Japanese Studies”（コーディネーター：アンドリュー・ゴードン氏（ハーバード大学教授））

発表：On-line resources available at OISR.ORG

発表者：鈴木 玲

（同パネルコメンテーター：二村一夫氏（名誉研究員），他発表者：中山いづみ氏（元客員研究員），クリストファー・ガーティス氏（元客員研究員））

24日 法政大学学位授与式

27日 事務会議

28日 研究員会議

月例研究会

テーマ：「新しい大人のための公共哲学・試論」

報告者：野村一夫

『日本労働年鑑』編集会議

送別会

30日 戦後労働運動研究会

「労働組合名簿について」（永田瞬），「組織変遷図について」（芹沢寿良），「テーマ別索引について」（早川征一郎）

## 大原社会問題研究所利用のご案内（抄）

### 【利用資格】

制限はありません。社会・労働問題に関心ある方は、どなたでも利用できます。

『大原社会問題研究所雑誌』の定期購読者にはコピー料金の割引なども行っています。

### 【開館時間】

〈平日〉9時～17時 〈土曜〉9時～12時

### 【休館日】

日曜、祝日、年末年始、大学の入学試験日、他に大学の事情により休館することもあります。その都度掲示、ホームページでお知らせします。

### 【複写】

1枚40円（法政大学教職員・学生は10円）

\*丁寧コピーは1枚60円 \*デジカメ等による自写は1枚10円 コンピューターからの所蔵データのプリントは1枚10円 \*貴重書・劣化の激しい資料・製本新聞は複写できません。

### 【館外貸出し】

法政大学教職員・学生・『大原社会問題研究所雑誌』定期購読者のみ可

教員・研究員・大学院生：10冊 3か月以内  
学生・定期購読者：5冊 2週間以内。

### 【所蔵資料の刊行物等への利用】

有料です。所長宛に内容を明記した「使用許可願い」を出してください。

\*撮影したフィルムは研究所に寄贈してください。

\*掲載図書には、当研究所所蔵資料である旨を明記し、1点を寄贈してください。

### 【非来館サービス】

〈文献複写〉上記料金+送料実費で行います。文書、Fax、メール等でお申し込みください。

〈図書の郵送貸出し〉図書館・研究機関を対象に行います。冊数：3冊以内 期間：1か月以内

☆その他詳しくはホームページ<http://oisr.org>をご覧ください。いただくか、直接お問い合わせください。

大原社会問題研究所雑誌 No.584（2007年7月号）

2007年7月25日発行

定価 1,000円（本体952円），年間購読料12,000円

編集（兼）発行人 法政大学大原社会問題研究所

所長 相田利雄

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342

電話 042（783）2307

## 投 稿 募 集

本誌は社会・労働問題に対する論文、調査報告を募集しております。下記の規定に基づいてご投稿下さい。

### 投 稿 規 定

1. 投稿原稿は2部とし、ワープロ作成による未発表のものに限ります。
2. 原稿の分量は、原則として20,000字以内（図表を含む）とします。
3. 原稿には、審査に資するため、600字以内の要約を添付してください。
4. 原稿の採否は、本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て、本誌編集委員会が決定します。
5. 初めて投稿される方は、研究歴など簡単な履歴を添付してください。
6. 掲載原稿には、所定の原稿料をお支払いいたします。

#### 【原稿送付先】

〒194-0298 東京都町田市相原4342

法政大学大原社会問題研究所

『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

### 論 文 執 筆 要 領

論文を執筆される場合には、下記の点に留意してください。

執筆者校正の際には、原則として原稿を返却しませんので、原稿のコピーを確保しておいて下さい。

原稿をプリントアウトする場合には、ある程度の行間を取って下さい。

#### 1 一般的な原則

- ① 横書きとする。
- ② タイトル、氏名の次に簡単な目次をつける。
- ③ 原稿の最後に、執筆者名（ひらがな）、肩書き（所属、職名）を記入する。肩書きは大学の場合には、学部、研究所等の名称まで表記する。
- ④ 注をつける場合には、各章ごとに分割せず、最後に一括し、通し番号をつける。
- ⑤ 図、地図などは、可能な限りトレース済のものを提出する。

#### 2 注記の方式

##### ■日本語の図書・論文の場合

- A. 日本語で書かれた図書については、①著者名、②書名（書名は『 』で囲む）、③出版社名、④発行年（原則として西暦）の順に書く。ページ数を記入する場合には、発行年の次に記入する。
- B. 著者が2人の場合には、両者の姓名を書く。3人以上の場合には、「——他」の方式も可とする。
- C. 論文については、①執筆者名、②論文名（「 」で囲む）、③掲載雑誌名（『 』で囲む）、④巻号、⑤発行年月日の順に書く。
- D. 注の最後は、かならず「。」で止める。

##### ■欧文の図書・論文の場合

- A. 欧文の図書については、①著者名、②書名、③発行地（あるいは出版社名）、④出版年を書く。書名は、イタリックにするので、下線を引くなどして書名の部分を他の部分と区別する。
- B. 論文の掲載雑誌名は、イタリックとする。
- C. 再出を示す「ibid.」「op. cit.」などもイタリックにする。
- D. 注の最後は、かならず「.」で止める。

以上